

Ⅳ 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、一人ひとりに応じた健康支援事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、肝炎治療特別促進事業、難病対策事業等を主業務として広域的専門的業務を実施している。また、管内市の保健、医療、福祉の関係機関と連携を深め、事業の推進に努めている。

1 保健師関係指導事業

保健師は、地域保健課・疾病対策課に配属され、各課の業務に対応した活動を行っている。また管内市の保健師活動への支援・調整も行っており、地域保健活動の推進と保健師等の資質向上のために、研修会や連絡会議を開催した。

(1) 管内概況

健康福祉センターの保健師は地域保健課、疾病対策課に配属され業務分担で活動し、令和6年度の管内保健師就業状況は、健康福祉センター22名、松戸市73名、流山市46名、我孫子市27名の計168名である。母子保健・思春期保健・地域職域連携推進事業・一人ひとりに応じた健康支援・市町村支援・精神保健福祉・感染症対策・難病対策・学生等の保健所実習等の分野で役割を担い、業務の推進を図った。住民への身近な対人サービスについては、主に市の保健師が対応し、その充実に努めている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（令和6年4月1日現在）（単位：人）

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和4年度	158	21	95	12	22	8
令和5年度	165	22	98	17	19	9
令和6年度	168	22	100	19	19	8
松戸市	73	－	56	3	7	7
流山市	46	－	27	14	4	1
我孫子市	27	－	17	2	8	－

(2) 保健所保健師活動

保健師活動状況は、表 1 - (2) のとおりである。

表 1 - (2) 家庭訪問等個別指導状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：件)

区 分 種 別	家庭訪問		訪 問 以 外 の 保 健 指 導				個別の連携 ・連絡調整
			面 接		電 話	メー ル	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数(再掲：会議)
総 数	293	444	174	251	4,175	1,217	68 (7)
感 染 症	96	98	29	29	779	1,158	-
結 核	161	280	83	154	2,125	57	2(2)
精 神 障 害	-	-	1	1	28	-	-
長 期 療 養 児	15	29	10	12	111	-	13(-)
難 病	20	36	12	16	153	-	49(5)
生 活 習 慣 病	-	-	-	-	7	-	-
その他の疾病	-	-	1	1	51	-	-
妊 産 婦	-	-	-	-	-	-	-
低出生体重児	-	-	-	-	-	-	-
(未 熟 児)			-	-	-	-	-
乳 幼 児	1	1	-	-	24	-	4(-)
そ の 他	-	-	38	38	897	2	-
訪問延世帯数	293	444					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表 1 - (3) - ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開 催 年 月 日	テ ー マ	主 な 内 容	参 加 人 員
令和 6 年 6 月 10 日	令和 6 年度の保健活動 の共有を図る	① 令和 6 年度 管内保健師等業務 連絡研究会実施計画について ② 能登半島地震における保健師派 遣に関する報告	52 人
令和 6 年 7 月 29 日	中堅期保健師について 学ぶ	講演「中堅期保健師に求められる役 割とアイデンティティ」及び、グルー プワークを実施 講師：千葉県立保健医療大学 准教授 細谷紀子 氏	39 人
令和 6 年 10 月 16 日	事業を題材に情報交換 と新任期職員の交流	自分の事業を題材に情報交換を実施	24 人

令和7年 2月17日	業務研究会発表に向けて	業務研究会プレ発表会を実施	42人
---------------	-------------	---------------	-----

イ 所内保健師研究会

表1－(3)－イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
令和6年 4月30日	・所内研及び管内研の年間予定について ・各課の業務計画、業務予定 ・現任教育について ・業務研究について	16人
令和6年 7月8日	・災害時の保健師業務について	16人
令和6年 12月4日	・事例検討会 (ALS 2事例)	10人
令和7年 2月18日	復命研修(1)第83回日本公衆衛生学会総会 (2)保健所災害対応研修DHEAT 基礎編	14人
令和7年 3月10日	所長講和「苦手意識克服のための遠隔医療やテレヘルスの基礎知識」	15人

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1－(3)－ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
令和6年度は習志野健康福祉センターが実施		

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
令和6年 8月5日	講演 「職場でのジェネレーションギャップとは？ ～世代ごとの特徴を学びコミュニケーションに活かそう～」 講師 順天堂大学医療看護学部 教授 種市ひろみ 氏 オンライン開催およびオンデマンド配信	オンライン52名 オンデマンド 視聴回数25回

2 母子保健事業

母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、管内市と連携しながら訪問指導事業、小児慢性特定疾病医療支援事業、長期療養児支援事業、思春期保健事業、特定不妊治療費助成事業を実施した。また、母子保健の向上及び地域の支援体制を整備するため、管内母子保健担当者会議を開催した。

(1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健施策を効果的に推進するため、医師会・助産師会・医療機関等の代表者及び管内市の関係者から構成する母子保健推進協議会を設置している。

表2－(1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
令和7年1月30日	20人	(1) 管内母子保健の概況について (2) 管内の産後ケアや産後ケア以外の支援サービスについて (3) 妊産婦に対するメンタルヘルスの支援状況 (4) 妊産婦のメンタルヘルスに関する活動の共有

(2) 母子保健に関する連絡調整会議

管内市と健康福祉センターの母子保健担当者が、連携体制の構築や質の高い母子保健サービスの提供のために情報交換・意見交換を行う。

表2－(2) 母子保健に関する連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
令和6年7月19日	14人 管内母子保健担当 柏児童相談所保健師	(1) 令和6年度母子保健事業について (2) 産後ケア事業及び妊産婦の支援について (3) 母子保健推進協議会に向けて (4) 保健所で把握している人工呼吸器装着患者について

(3) 母子保健従事者研修会

管内の母子保健事業従事者の資質向上を図るために研修会を開催した。

表2－(3) 母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
思春期保健講演会 (再掲 思春期保健相談事業)	令和6年7月30日	オンライン 27名 オンデマンド 視聴回数 135回	講演「“多様な性”を前提とした学校をつくるには」 講師 明治大学文学部心理社会学科 臨床心理学専攻 准教授 佐々木 掌子 氏

小児慢性特定疾病 児童等自立支援事 業地域支援者研修 会 (再掲 小児慢性 特定疾病児童等自 立支援事業)	令和6年10月30日	オンライン 36名 オンデマンド 視聴回数48回	<p>テーマ 「保育園や通所施設の利用を希望する保護者への支援」</p> <p>内容 行政機関からの報告および関係機関からの講話</p> <p>「小児慢性特定疾病受給者アンケートから見た地域の課題について」</p> <p>担当：松戸保健所 地域保健課担当</p> <p>「管内各市の医療的ケア児に関する保育園受け入れ体制について」</p> <p>担当：松戸市、流山市、我孫子市 保育課担当</p> <p>「児童発達支援事業所での支援の実際」</p> <p>講師 一般社団法人 和音</p> <p>理事 木村 和子 氏</p> <p>「小児在宅ケアの専門家からの報告～安心・安全に過ごせるための第一歩に寄り添う」</p> <p>講師 あおぞら診療所新松戸</p> <p>看護師 森泉 智子 氏</p>
---	------------	-----------------------------------	---

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条の規定により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた妊娠週数別・年齢階級別の届出数は表2－(4)のとおりであった。ただし、届出数には管外在住者分も含まれる。

届出総数は減少傾向である。

表2－(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区 分 妊 娠 週 数	令和 4 年度	令和 5 年度	令 和 6 年 度									
			総 数	20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	473	434	405	16	74	82	94	100	37	2	－	－
満7週以前	242	232	194	9	30	39	48	49	18	1	－	－
満8週～満11週	208	176	184	6	42	38	37	45	15	1	－	－
満12週～満15週	6	8	8	－	－	1	4	2	1	－	－	－
満16週～満19週	11	9	7	－	1	1	2	2	1	－	－	－
満20週～満21週	6	9	12	1	1	3	3	2	2	－	－	－
不 詳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(5) 不妊・不育相談事業

県では、不妊や不育に悩む夫婦等に、一般的な相談や検査・治療に関する情報提供、精神面での相談を不妊・不育オンライン相談で行っている。各保健所でも、随時、保健師が面接や電話等により相談支援を行っている。

その他、妊娠や不妊に関する正確な情報を提供していくことは重要であることから、不妊講演会を地域の実情に応じて開催している。

表2－(5) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参 加 人 員
令和6年12月17日	講演「自分のからだは自分のもの ～自分の人生を自分のものにするために～」 講師 千葉県助産師会 思春期保健相談士 助産師 加藤 睦 氏	流山北高等学校1年生および教職員	180人

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費の負担の軽減を図ることを目的としている。

対象者：18歳未満の児童（継続認定者は、20歳の誕生日の前日まで）

対象疾患：16疾患群（788疾病）

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成受給者状況（各年度3月31日現在）（単位：件）

疾 患 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	松 戸 市	流 山 市	我孫子市
総 数	635	649	665	372	204	89
1 悪 性 新 生 物	90	95	99	53	33	13
2 慢 性 腎 疾 患	49	41	35	22	9	4
3 慢性呼吸器疾患	49	52	52	37	11	4
4 慢 性 心 疾 患	104	103	112	55	39	18
5 内 分 泌 疾 患	91	82	82	42	28	12
6 膠 原 病	16	18	17	5	8	4
5 糖 尿 病	33	32	30	17	9	4
8 先天性代謝異常	11	14	14	7	7	－
9 血 液 疾 患	23	25	22	11	10	1
10 免 疫 疾 患	2	1	2	1	1	－
11 神経・筋疾患	79	82	81	43	25	13
12 慢性消化器疾患	52	64	69	46	11	12

13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症 候 群	25	26	30	21	7	2
14	皮 膚 疾 患	3	2	4	2	1	1
15	骨 系 統 疾 患	6	9	12	7	4	1
16	脈 管 系 疾 患	2	3	4	3	1	-

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（平成 27 年 1 月 1 日から施行）

児童福祉法第 19 条の 22 に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表 2－（7）－ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

名 称	開 催 年 月 日	参加人数・内訳	内 容
自立支援事業 (病態栄養教室)	令和 6 年 8 月 9 日 オンライン開催及び オンデマンド配信	オンライン 75 名 オンデマンド 視聴回数 182 回	講演 「潰瘍性大腸炎・クローン病 の食事療法」 講師 東京医科歯科大学病院 病院長参与 斎藤 恵子 氏
地域支援者研修会	令和 6 年 10 月 30 日 オンライン開催及び オンデマンド配信	オンライン 36 名 オンデマンド 視聴回数 48 回	(1)「小児慢性特定疾病受給者アンケート から見えた地域の課題について」 松戸保健所 地域保健課担当 (2)「管内各市の医療的ケア児に関する保 育園受け入れ体制について」 松戸市、流山市、我孫子市 保育課担当 (3)「児童発達支援事業所での支援の実 際」 講師 一般社団法人 和音 理事 木村 和子 氏 (4)「小児在宅ケアの専門家からの報告～ 安心・安全に過ごせるための第一歩に寄 り添う」 講師 あおぞら診療所新松戸 看護師 森泉 智子 氏

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2－（7）－イ 療育相談指導内容

（単位：人）

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相 談 者 数（延）	4	5	4
家 庭 看 護 指 導	4	5	4
食 事 ・ 栄 養 指 導	－	－	－
歯 科 保 健 指 導	－	－	－
福 祉 制 度 の 紹 介	－	－	－
精 神 的 支 援	－	－	－
学 校 と の 連 絡	－	－	－
家 族 会 等 の 紹 介	－	－	－
そ の 他	－	－	－

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2－（7）－ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別)

（単位：件）

疾 患 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	1	25	21
悪 性 新 生 物	－	－	－
慢 性 呼 吸 器 疾 患	1	10	11
慢 性 心 疾 患	－	3	4
先 天 性 代 謝 異 常	－	2	2
内 分 泌 疾 患	－	－	1
神 経 ・ 筋 疾 患	－	1	1
慢 性 消 化 器 疾 患	－	4	－
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	－	5	2

エ 窓口相談事業

表2－（7）－エ 相談内容

（単位：件）

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相 談 者 数(延)	4	10	12
申 請 等	2	3	－
医 療	－	2	－
家 庭 看 護	1	3	6
福 祉 制 度	1	1	1
就 労	－	－	1
就 学	－	－	－
食 事 ・ 栄 養	－	1	－
歯 科	－	－	－
そ の 他	－	－	4

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(7)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

年度 \ 区分	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
令和4年度	-	-	-	-
令和5年度	1	3	1	3
令和6年度	-	-	-	-

(8) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第21条の9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に入院させて医療給付を行うほか、学用品・日用品の給付を行うものである。

令和6年度の申請者はなし。

(9) 思春期保健相談事業

思春期のこころやからだの悩み等を解消することを目的に、臨床心理士や保健師による個別相談及び学校教諭等を対象とした講演会を実施している。思春期講演会は Zoom を活用したオンラインおよび千葉県 YouTube チャンネルでオンデマンド配信により実施した。

表2-(9)-ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容
令和6年度は実施なし			

表2-(9)-イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容
思春期講演会	令和6年7月30日	オンライン 27名 オンデマンド 視聴回数135回	講演「“多様な性”を前提とした学校をつくるには」 講師 明治大学文学部心理社会学科 臨床心理学専攻 准教授 佐々木 掌子 氏

表2-(9)-ウ 思春期保健事業個別相談

名 称		開催 回数	相談 件数	対象者	内 容
思春期保健 相談	臨床 心理 士	8	13	思春期の子どもやその 家族	不登校や精神的な不調に関する相談に応じ、 家族の対応の仕方などを助言した。
	保健 師	随時	52		

3 成人・老人保健事業

健康増進法による健康増進事業のなかで、がん検診の普及啓発を行い受診率の向上を図っている。

健康増進法による健康増進事業には、①健康手帳の交付、②健康教育、③健康相談、④機能訓練、⑤訪問指導、⑥総合的な保健推進事業、⑦歯周病疾患検診、⑧骨粗しょう症検診、⑨肝炎ウイルス検診、⑩特定健康診査非対象者等に対する健康診査、⑪特定健康診査非対象者に対する保健指導、⑫がん検診があり、市が主体となり実施している。

(1) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図っている。講習会については、松戸及び野田保健所の輪番で実施している。令和6年度の講習会は松戸保健所が主催し、集合形式および千葉県YouTubeチャンネルでオンデマンド配信により実施した。

表3 がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
令和6年8月29日	10人 視聴回数90回	情報提供「最近の子宮頸がんの動向」 子宮頸がんを考える市民の会 渡部 享宏 氏 講演 「見て！聞いて！知って！婦人科がんのこと」 講師 聖順会 ジュノ・ヴェスタクリニック八田 院長 八田 真理子 氏

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう、健康づくり支援体制を充実することを目的とし一人ひとりに応じた健康支援事業を実施した。

(1) 健康相談事業

身体的・精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、保健師が電話相談に応じた。

表4 健康相談実施状況（電話）

（単位：件）

区分 年度	男 性	女 性	総 数
令和4年度	76	112	188
令和5年度	81	107	188
令和6年度	56	93	149

5 総合的な自殺対策推進事業

平成 28 年 4 月に改正自殺対策基本法が施行となり、自殺対策計画策定が市町村へ義務付けられた。昨年度は市町村の主催する会議に出席し、地域の自殺対策の現状等について共有を行った。その他、身近な健康問題として自殺を捉えられるよう啓発パンフレットの配布、ポスターの掲示などを行った。

表 5 自殺予防普及啓発物資の配布状況

配付物	配布部数	配付者
「あなたのこころ元気ですか」	100 部	来所者 講習会の参加者等

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進するため、「保健所圏域地域・職域連携推進協議会」を設置し連携を図っている。

令和 5 年度より、テーマを「働く世代のフレイル対策」とし、フレイルの認知度向上を主とした取組を実施した。

表 6－（1）松戸圏域地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和 7 年 2 月 14 日	17 人	1) 報告事項 令和 6 年度の事業実施内容報告 2) 協議事項 オンデマンド講座による普及啓発について 次年度の事業実施計画について ほか

表 6－（2）松戸圏域地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和 6 年 8 月 6 日	9 人	1) 今年度の事業計画について 2) オンデマンド講座の内容検討 ほか

表 6－（3）共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
【出前講座】 第 1 回 令和 6 年 5 月 1 日 第 2 回 令和 6 年 10 月 11 日 第 3 回 令和 6 年 11 月 1 日	事業所（流山市）従業員 28 人 介護老人福祉施設（松戸市）従業員 22 人 介護老人福祉施設（松戸市）従業員 32 人

【普及啓発】	1 啓発リーフレット「転ばぬ先のフレイル対策」を作成し、委員所属機関等で配布 4,394 枚 2 出前講座周知リーフレットを配布 460 枚 3 労働安全週間の事前説明会や給食施設研修会等でリーフレット配布、動画再生による周知 4 キャッチフレーズの活用（のぼり旗やウェットティッシュの作成等） 5 委員所属機関でホームページや会報等を活用し周知
--------	---

7 栄養改善事業

生活習慣病予防と望ましい食生活の普及・定着を図るため、健康教育・栄養指導等を実施した。食環境整備のため、県民の健康づくりを応援する飲食店等の支援・指導、食品事業者に対する栄養成分表示に関する指導等を行った。特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく適切な栄養管理が実施できるよう指導・支援を行った。

管内の健康・食生活上の課題に対応するため、個別栄養相談の他、リーフレット等の配布により情報提供を行った。また、食環境整備として「健康ちば協力店」の周知啓発、食品事業者に対する栄養成分等の表示に関する指導等を実施した。

特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく栄養管理が実施できるよう、個別の指導・支援を行った。

（１）健康増進（栄養・運動等）事業

住民の生活習慣病予防及び健康づくりのために、電話による個別指導の実施及び広報活動により正しい知識の普及・啓発に努めた。

表 7－（１）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員							
		栄養指導	(再掲) 病態別 栄 養 指 導	(再掲) 訪問による栄 養指導	運動 指導	(再掲) 病態別 運 動 指 導	休養 指導	禁煙 指導	その他	栄養指導	(再掲) 病態別 栄養 指導	運動 指導	(再掲) 病態別 運 動 指 導	休養 指導	禁煙 指導	その他	
実施数	妊 産 婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乳 幼 児	1	1	-					-	-	-					-	
	20 歳未満 (妊産婦・乳幼児 を 除 く)	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20 歳以上 (妊産婦を除く)	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(再掲)医療機関等へ委託	妊 産 婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		乳 幼 児	-	-	-					-	-	-					-
		20 歳未満 (妊産婦・乳幼児 を 除 く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20 歳以上 (妊産婦を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表 7－（１）－ア 病態別個別指導状況

（単位：人）

区分 種別	計	生活 習慣病	難 病	アレルギー 疾 患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	1	－	－	1	－	－
病態別運動指導	－	－	－	－	－	－

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・脂質異常症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表 7－（１）－イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
病態栄養 教室	令和 6 年 8 月 9 日 YouTube 令和 6 年 9 月 1 日 ～11 月 30 日	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）の小児慢性特定疾病等の受給者及び家族等	9 人 (再生回数 182 回)	講演 「潰瘍性大腸炎・クローン病の食事療法」 講師 東京医科歯科大学病院 病院長参与 斎藤 恵子氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表 7－（１）－ウ 地域における健康づくり推進実施状況

名 称	開催年月日	対象者	参加数	内 容
食環境づくりの 聞き取り調査	令和 6 年 8 月～ 令和 7 年 2 月	事業所給 食施設	7 施設	食環境づくりに関する取組みの聞き取り 協力店及びフレイル出前講座の周知

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表 7－（１）－エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	我孫子市柴崎地区 87 世帯 234 人	令和 6 年 10 月 23 日及び 24 日 【調査内容】 ・栄養摂取状況調査（満 20 歳以上） 世帯状況と世帯員個人の食事状況 ・生活習慣調査（満 20 歳以上） ・身体状況調査 身長、体重（満 1 歳以上） 腹囲、血圧、血液検査、問診（満 20 歳以上） 歩数計による一日の運動量（満 20 歳以上）
県民健康・栄養調査	実施なし	—

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表 7－（１）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－（－）	－（－）	－（－）	
食品表示基準に ついて （保健事項）	栄養成分	23	31	－	－	
	特定保健用食品	－	－	－	－	
	栄養機能食品	－	－	－	－	
	機能性表示食品	－	－	－	－	
	その他※	－	－	－	－	
健康増進法第 6 5 条第 1 項（虚偽誇大広告）		－	－	－	－	
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－	－	－	

		県民への相談対応・普及啓発			
		相談（個別）		普及啓発（集団）	
		延相談件数		回数	延対象者数 内容 （講習会等）
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）		－（－）	－（－）
食品表示基準に ついて （保健事項）	栄養成分	－		－	－
	特定保健用食品	－		－	－
	栄養機能食品	－		－	－
	機能性表示食品	－		－	－
	その他※	－		－	－
健康増進法第 6 5 条第 1 項（虚偽誇大広告）		－		－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－		－	－

（ ）内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表 7－（１）－オ－（イ）食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について（保健事項）	栄養成分※	1（－）	1（－）
	機能性表示食品	－	－
	その他	－	－
健康増進法第 6 5 条第 1 項（虚偽誇大広告）		－	－
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		－	－

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む （ ）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表 7－（１）－オ－（ウ） 特別用途食品に対する検査・指導件数（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
-(-)	-(-)	-(-)

（ ）内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表 7－（１）－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
国民健康・栄養調査結果返却	52 人	出前講座（地域・職域連携推進事業） 講話 「フレイル予防の栄養・食事」 対象 松戸市内及び流山市内事業所	3	82 人

(2) 給食施設指導

特定給食施設等に対して、健康増進法に基づく適切な栄養管理が実施できるよう、研修会の開催や資料の送付等により情報提供を行い、給食に携わる管理者・従事者の資質の向上に努めた。

また、栄養管理状況報告書等により、利用者と施設の特性に合わせた適切な栄養管理が行われるよう、個別の指導及び助言を行った。

給食施設状況

表 7－(2) 給食施設状況 (単位：件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士・ 栄養士どちらもいる 施設			栄養士のみ いる施設		管理 栄養 士 ど ち ら も い な い 施 設	管理栄養士 必置指定 施設		調理師の いる施設		調 理 師 の い な い 施 設	栄 養 成 分 表 示 施 設	栄 養 教 育 実 施 施 設
	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	管 理 栄 養 士 数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管 理 栄 養 士 数	施 設 数	調 理 師 数			
419	132	162	95	220	179	137	188	55	6	65	323	776	96	413	318

ア 給食施設指導状況

表 7－(2)－ア 給食施設指導状況 (単位：件)

区 分			計	特定給食施設		その他の 給食施設
				1 回 300 食 以上 又は 1 日 750 食 以上	1 回 100 食 以上 又は 1 日 250 食 以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	87	37	37	13
		その他指導施設数	193	33	109	51
	喫食者への栄養・運動指導延人員		－	－	－	－
集団指導	給食管理指導	回 数	3	3		
		延 施 設 数	266	66	144	56
	喫食者への 栄養運動指導	回 数	－	－	－	－
		延 人 員	－	－	－	－

イ 給食施設個別巡回指導

表7－（２）－イ 給食施設個別巡回指導状況

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみの施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)
合 計		419	87	132	34	95	34	137	16	55	3
指定施設①	計	6	6	1	1	5	5	-	-	-	-
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	6	6	1	1	5	5	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
300食/回、750食/日以上（指定施設を除く）②	計	118	31	76	25	1	1	36	5	5	-
	学校	110	25	70	20	-	-	35	5	5	-
	病院	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	6	5	5	5	-	-	1	-	-	-
	寄宿舍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみの施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)	施設数	指導施設数(再掲)
100食/回, 250食/日以上 (①, ②除く)	計	227	37	42	5	73	21	77	9	35	2
	学校	17	1	7	-	-	-	9	1	1	-
	病院	15	15	1	1	14	14	-	-	-	-
	介護老人保健施設	16	2	3	1	13	1	-	-	-	-
	介護医療院	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	34	2	13	1	21	1	-	-	-	-
	児童福祉施設	124	14	16	2	21	5	61	6	26	1
	社会福祉施設	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	事業所	7	2	-	-	1	-	2	1	4	1
	寄宿舍	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	矯正施設	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	9	1	2	-	2	-	3	1	2	-
その他の給食施設	計	68	13	13	3	16	7	24	2	15	1
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	7	7	1	1	6	6	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	8	-	3	-	2	-	3	-	-	-
	児童福祉施設	28	3	3	-	8	1	16	2	1	-
	社会福祉施設	4	-	2	-	-	-	-	-	2	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舍	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	20	3	4	2	-	-	5	-	11	1
※施設に出向き個別指導した施設数を記入する。											
※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。											

ウ 給食施設開始届・廃止(休止)届・変更届指導

表7- (2) -ウ 給食施設開始届・廃止(休止)届・変更届指導 (単位: 件)

	給食施設開始届	給食施設廃止(休止)届	給食施設変更届
届出数	15	7	92
指導数	15	7	92

エ 給食施設集団指導

表 7 - (2) - エ 給食施設集団指導状況

名 称	開催年月日	対象者	参加者数	内 容
給食施設 衛生研修会	令和 6 年 6 月 17 日～ 9 月 6 日	給食施設 管理者・従事 者	149 施設 342 人 (視 聴 回 数 951 回)	オンライン配信(千葉県セミナーチャンネル) 講義「給食施設の衛生管理について」 講師：松戸保健所 食品機動監視課 食品衛生監視員 生活衛生課 食品衛生監視員 講義「給食施設の栄養管理について」 講師：松戸保健所 地域保健課 栄養指導員
給食施設 研修会	令和 7 年 2 月 17 日 YouTube 令和 7 年 3 月 10 日～ 3 月 31 日	給食施設 管理者・従事 者	117 施設 141 人 (視聴回 数 476 回)	会場開催及びオンライン配信(千葉県セミナーチャンネル) 講演「今こそ確認したい日本食品標準成分表 (八訂)のポイント」 ～改定のポイントと給食施設における 栄養管理への活用～ 講師 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊智子氏

(3) 健康ちば協力店推進事業

表 7 - (3) - ア 健康ちば協力店登録状況

令和 6 年度登録件数			総登録件数
新規登録件数	変更件数	取消件数※	
1	-	-	3

表 7 - (3) - イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及 啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発 及び指導状況	
	回 数	延人員	回 数	延店舗数	延人員	回 数	延人員
個別指導		21	-	-	-	-	-
集団指導	4	328	-	-	-	-	-
合 計		349	-	-	-	-	-

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表 7 - (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び 加入組織数	活動内容	育成内容	延育成 人員
松戸保健所管内 集団給食協議会	37 施設	給食運営に関する調査研究に 関する事業、栄 養・調理技術に関する知識の普及啓発事業等	理事会、総会 の運営助言	59 人

(5) 調理師試験及び免許関係

表 7 - (6) 調理師試験及び免許取扱状況

(単位：名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和4年度	115	79	68.7	167	22	24
令和5年度	113	74	65.5	137	27	28
令和6年度	84	59	70.2	177	29	33

8 歯科保健事業

国民の歯科の健康状態を明らかにすることを目的として、歯科疾患実態調査を実施した。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表 8 - (1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人員
実施なし				

(2) その他（各保健所の独自事業）

表 8 - (2) その他（各保健所の独自事業）

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人員
実施なし				

(3) 歯科疾患実態調査

表 8 - (3) 歯科疾患実態調査実施状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
歯科疾患実態調査	我孫子市柴崎 87 世帯 234 人	令和6年10月24日 【調査内容】 ・問診及び口腔内診査

9 精神保健福祉事業

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、精神保健福祉法）」に基づく入院に係る法施行業務、精神保健福祉相談・訪問支援等を行っている。市町村・医療機関・地域の支援機関等と連携し、専門性や広域での調整を要する支援や精神障害者の退院後支援等を行い、また、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業や心神喪失者等医療観察法に関する会議等に参画し、地域精神保健福祉活動等を行っている。

（１）管内精神科病院からの届出の状況

精神科病院は１施設あり、病床は３０８床である。精神保健福祉法に基づき、管内病院から各種届出が提出される。医療保護入院については、入院の翌日から起算して１０日以内に医療保護入院の入院届が提出され、１２か月ごとに医療保護入院の定期病状報告が保健所に提出されていたが、令和６年度精神保健福祉法改正により、医療保護入院の期間が法定化され更新の手続きが必要となった（医療保護入院の定期病状報告書は廃止）。入院期間を更新する場合、入院日から６か月を経過するまでの間は３か月ごとに、６か月を経過した後は６か月以内に入院期間の更新手続きが必要となり、入院期間満了日の翌日から起算して１０日以内に医療保護入院の更新届が提出される。また、措置入院から３か月を経過した場合には、措置入院者の定期病状報告が提出される。

表９－（１） 管内病院からの届出等の状況

（単位：件）

種別 年度	医療保護 入院者の 入院届	応 急 入院届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
令和４年度	145	0	147	12	2	84	7
令和５年度	145	2	133	14	1	85	11
令和６年度	104	1	121	15	1	14	100

※ その他は、医療保護入院の更新届 98 件、転院許可申請 2 件、仮退院申請 0 件、再入院届 0 の合計

(2) 措置入院関係

精神保健福祉法に基づく通報等を受理し、措置診察の必要性を判断するための事前調査を行っている。措置診察が必要と判断された者については、精神保健指定医による診察を行い、措置入院もしくは緊急措置入院の可否を判断する。入院が必要とされた者に対しては、入院先医療機関までの移送を行っている。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた 者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当 症状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
令和4年度	100	31	59	0	6	22 *1	2	1	0	0	21
令和5年度	110	30	67	2	7	15	0	4	0	0	34
令和6年度	102	43	53	1	4	8	0	1	0	0	21
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	46	5	37	1	2	8	0	1	0	0	19
法第24条 検察官からの通報	26	10	14	0	2	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医 療機関管理者及び保護観察 所長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2

(注) 1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、原則として法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

*1 緊急措置入院中、措置解除となった1件含む

表9－（２）－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

病 名 年 度 果		総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	発 達 障 害	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他
					認	そ	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他							
					知 症	他	ル	剤	他							
					F0		F1									
F2	F3	F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15		F4	F6	F7	G40						
令和4年度		65	43	13	1	2	0	0	0	1	2	0	0	3	0	0
令和5年度		76	52	10	3	0	0	0	3	3	1	0	0	3	0	1
令和6年度		59	41	9	0	5	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
診察 実施	要 措 置	53	38	9	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	不要措置	6	3	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0

※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 1名。

2 緊急措置入院中に措置解除となった者 0名。

3 その他には病名不詳を含む。

4 F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－（２）－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（令和7年3月31日現在）（単位：人）

入院期間 年度	総 数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
令和4年度	2	1	1	0	0
令和5年度	15	15	0	0	0
令和6年度	16	15	1	0	0

表9－（２）－エ 申請・通報・届出関係の相談等（令和7年3月31日現在）（単位：人）

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	b	65歳以上	不明	
相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	54	38	16	0	1	12	33	8	0	90
電話	95	69	26	0	6	25	50	14	0	769

(3) 医療保護入院のための移送（法第34条）

精神保健指定医による診察の結果、精神障害者であり、かつ、直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障がある者であって、任意入院が行われる状態にない場合、家族等の同意があるときはその者を応急入院指定病院に移送し、精神障害者の医療及び保護を図ることとしている。

表9－（3）医療保護入院のための移送処理状況（単位：件）

年度 \ 区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
令和4年度	0	0	0
令和5年度	0	0	0
令和6年度	0	0	0

(4) 精神保健福祉相談・訪問支援実施状況

精神科医師による定例相談のほか、精神保健福祉相談員や保健師等が相談・訪問・電話等による住民からの相談に随時応じている。相談内容については、診療に関すること、生活支援、社会復帰、依存症、認知症等と広範にわたる。

なお、退院後支援については平成30年に厚生労働省社会・援護局障害福祉部長から発出された「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」に基づき、千葉県で作成した「精神障害者の退院後支援マニュアル」における支援方法や支援対象者の判定基準に準じて計画を策定し、支援を行っている。

表9－（4）－ア 精神科医師による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1 木曜日	14：00～16：00	保健所（健康福祉センター）
毎月 第3 月曜日	14：00～16：00	保健所（健康福祉センター）
毎月 第3 木曜日	14：00～16：30	保健所（健康福祉センター）
毎月 不定期	不定期	事例により相談又は訪問を実施

表9－（４）－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不 明	
令和4年度	208	125	83	0	10	66	94	34	4	534
令和5年度	104	52	51	1	0	26	53	24	1	322
令和6年度	157	95	62	0	5	41	80	27	4	328
松 戸 市	108	66	42	0	4	27	54	20	3	213
流 山 市	17	10	7	0	0	6	8	3	0	59
我 孫 子 市	12	6	6	0	0	2	7	3	0	23
管外・不明	20	13	7	0	1	6	11	1	1	33
相 談	78	45	33	0	3	22	37	12	4	123
訪 問	79	50	29	0	2	19	43	15	0	205

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

3 年齢は当該年度初回対応時のもの

表9－（４）－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

性 区 分	計	男性	女性	不明
電 話	3,476	2,173	1,287	16
メール	17	17	0	0

表9－（４）－エ 相談の種別（延数）

（単位：件）

種 別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談
		関診する療科に	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒							
令和4年度	534	312	31	63	15	11	0	0	1	0	17	14	68	0	2
令和5年度	433	269	14	36	22	15	1	0	0	0	12	0	64	0	0
令和6年度	419	319	13	38	11	7	5	0	0	0	7	6	11	0	2
相談	計	124	90	0	8	7	5	1	0	0	4	3	4	0	2
	男	74	53	0	8	3	5	1	0	0	2	1	0	0	1
	女	50	37	0	0	4	0	0	0	0	2	2	4	0	1
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	計	295	229	13	30	4	2	4	0	0	3	3	7	0	0
	男	196	156	8	21	3	2	4	0	0	0	0	2	0	0
	女	99	73	5	9	1	0	0	0	0	3	3	5	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表9－（４）－オ 援助の内容（延数）

（単位：件）

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導支援	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整	その他
令和4年度	1,041	27	190	110	31	214	431	38
令和5年度	820	21	146	72	23	224	324	10
令和6年度	704	33	156	70	18	147	216	64

（注） 援助内容は重複あり

表9－（４）－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数

	支援対象者	支援計画あり		
		本人同意あり	会議開催数	
合 計	31	2	2	3
松 戸 市	20	2	2	3
流 山 市	4	0	0	0
我 孫 子 市	7	0	0	0

(5) 地域精神保健福祉関係

地域の精神保健福祉を円滑に促進するために、管内精神保健福祉担当者会議を行った。

表9－(5)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
令和6年度精神保健福祉担当者会議	令和6年8月7日	13	管内市及び柏市 精神保健福祉担当

表9－(5)－イ 組織育成・運営支援

(単位：件)

区分	種別	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
	支援延件数	-	-	-	-

(6) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所・医療機関主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。平成17年から同法が施行されたことに伴い、保健所においても各種会議への参加等が求められている。

表9－(6) 医療観察法に係る会議への参加

(単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	28	14	0

- ・「その他」は、CPA会議（Care program approach の略）とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、インターフェロン治療(3剤併用療法を除く)、核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充された。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況

(単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
令和4年度	417	－	42
令和5年度	406	－	45
令和6年度	396	－	36
松戸市	244	－	22
流山市	93	－	6
我孫子市	59	－	8

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。

表11－(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況

(単位：人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
令和4年度	1	－	1
令和5年度	1	－	1
令和6年度	0	－	0
松戸市	－	－	－
流山市	－	－	－
我孫子市	－	－	－

12 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患 56 疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）に基づく医療費助成制度が平成 27 年 1 月 1 日に施行された。それに伴い対象疾患は 110 疾患に拡充され、さらに同年 7 月 1 日には、306 疾患に拡大した。平成 29 年 4 月 1 日には 330 疾患、平成 30 年 4 月 1 日には 331 疾患と続き、令和元年 7 月 1 日には 333 疾患と対象疾患が拡大され、令和 3 年 11 月 1 日から 338 疾患、令和 6 年 4 月 1 日から 341 疾患が医療費助成の対象となっている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 1 2 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

<div> <div>年度・市町村別</div> <div>疾患名</div> </div>	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	松戸市	流山市	我孫子市
総 数	3	3	4	2	2	-
ス モ ン	3	3	4	2	2	-

表 1 2 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況 (単位：件)

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
総 数		6,087	6,442	6,703	3,973	1,629	1,101
1	球脊髄性筋萎縮症	11	12	12	5	5	2
2	筋萎縮性側索硬化症	62	67	59	29	16	14
3	脊髄性筋萎縮症	3	3	3	2	1	0
4	原発性側索硬化症	1	2	1	1	0	0
5	進行性核上性麻痺	77	89	87	36	29	22
6	パーキンソン病	802	830	868	500	204	164
7	大脳皮質基底核変性症	30	34	40	29	4	7
8	ハンチントン病	8	8	8	4	2	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	5	7	7	4	2	1
11	重症筋無力症	165	173	177	92	47	38
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	123	130	139	79	38	22
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	21	25	24	15	7	2
15	封入体筋炎	4	4	4	3	1	0
16	クロウ・深瀬症候群	2	2	3	1	1	1
17	多系統萎縮症	51	58	56	29	17	10
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	150	156	156	102	31	23
19	ライソゾーム病	6	10	8	4	3	1
20	副腎白質ジストロフィー	3	3	3	3	0	0
21	ミトコンドリア病	8	10	10	5	3	2
22	もやもや病	64	63	63	38	13	12
23	プリオン病	3	4	2	2	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	1	1	1	0	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	2	3	3	0	0
27	特発性基底核石灰化症	2	3	2	2	0	0
28	全身性アミロイドーシス	27	33	35	19	8	8
30	遠位型ミオパチー	1	1	1	1	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	1	1	1	0	0
34	神経線維腫症	19	20	18	13	3	2
35	天疱瘡	16	15	18	9	5	4
36	表皮水疱症	1	1	1	1	0	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	13	14	9	4	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1	1	1	0	0
39	中毒性表皮壊死症	0	0	1	1	0	0
40	高安静脈炎	27	26	25	16	7	2
41	巨細胞性動脈炎	13	14	18	10	3	5
42	結節性多発動脈炎	17	14	12	8	3	1

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
43	顕微鏡的多発血管炎	69	77	82	54	18	10
44	多発血管炎性肉芽腫症	25	22	23	15	4	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	43	51	52	34	12	6
46	悪性関節リウマチ	35	31	29	22	3	4
47	バージャー病	8	7	6	4	2	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	4	5	4	0	1
49	全身性エリテマトーデス	428	428	453	269	98	86
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	171	175	188	114	47	27
51	全身性強皮症	172	177	180	109	40	31
52	混合性結合組織病	56	62	63	38	18	7
53	シェーグレン症候群	75	84	94	57	22	15
54	成人スチル病	22	24	27	20	5	2
55	再発性多発軟骨炎	3	3	3	2	0	1
56	ベーチェット病	89	94	96	61	21	14
57	特発性拡張型心筋症	88	88	87	65	15	7
58	肥大型心筋症	31	32	37	20	14	3
60	再生不良性貧血	39	44	47	26	5	16
61	自己免疫性溶血性貧血	6	9	6	3	3	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	6	6	8	3	2	3
63	特発性血小板減少性紫斑病	83	82	87	52	18	17
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	2	2	0	0	2
65	原発性免疫不全症候群	13	16	15	8	5	2
66	IgA 腎症	74	76	89	54	25	10
67	多発性嚢胞腎	107	115	114	72	23	19
68	黄色靱帯骨化症	18	21	24	12	9	3
69	後縦靱帯骨化症	144	154	163	110	32	21
70	広範脊柱管狭窄症	31	28	23	17	3	3
71	特発性大腿骨頭壊死症	120	125	118	69	31	18
72	下垂体性ADH分泌異常症	21	25	24	14	7	3
74	下垂体性PRL分泌亢進症	7	7	9	6	3	0
75	クッシング病	7	8	7	4	1	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1	1	1	1	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	28	29	29	17	5	7
78	下垂体前葉機能低下症	115	123	129	75	32	22
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	2	2	2	2	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6	6	6	2	3	1
83	アジソン病	1	2	2	1	1	0
84	サルコイドーシス	78	83	82	49	18	15

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
85	特発性間質性肺炎	148	160	188	93	55	40
86	肺動脈性肺高血圧症	17	24	24	8	14	2
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	38	38	37	18	11	8
89	リンパ脈管筋腫症	6	7	9	7	1	1
90	網膜色素変性症	182	173	178	114	37	27
91	バッド・キアリ症候群	1	2	2	2	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	0	2	1	1	0
93	原発性胆汁性胆管炎	104	100	95	50	27	18
94	原発性硬化性胆管炎	6	7	7	4	1	2
95	自己免疫性肝炎	44	41	39	21	11	7
96	クローン病	282	300	309	191	67	51
97	潰瘍性大腸炎	788	821	866	510	232	124
98	好酸球性消化管疾患	2	3	4	1	2	1
106	クリオビリן関連周期熱症候群	1	1	1	0	1	0
107	若年性特発性関節炎	11	12	10	4	4	2
109	非典型溶血性尿毒症症候群	2	4	3	2	1	0
111	先天性ミオパチー	2	2	2	1	1	0
113	筋ジストロフィー	27	27	25	15	5	5
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	1	1	1	0	0
117	脊髄空洞症	4	3	3	2	1	0
118	脊髄髄膜瘤	1	1	1	1	0	0
122	脳表へモジデリン沈着症	3	4	5	4	1	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	1	0	1	0
127	前頭側頭葉変性症	8	9	7	5	2	0
128	ビッカーstaff脳幹脳炎	1	1	1	1	0	0
136	片側巨脳症	1	1	1	1	0	0
137	限局性皮質異形成	2	1	1	0	0	1
139	先天性大脳白質形成不全症	1	1	1	0	1	0
144	レノックス・ガストー症候群	3	4	7	6	1	0
145	ウエスト症候群	7	7	7	6	1	0
150	環状20番染色体症候群	1	0	1	1	0	0
152	PCDH19関連症候群	1	1	1	0	0	1
156	レット症候群	2	3	4	2	0	2
158	結節性硬化症	6	6	6	4	1	1
160	先天性魚鱗癬	1	1	1	0	1	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	2	2	2	2	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	16	21	22	13	4	5
163	特発性後天性全身性無汗症	5	7	5	3	1	1

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
164	眼皮膚白皮症	1	1	1	1	0	0
167	マルファン症候群	4	3	1	1	0	0
168	エーラス・ダンロス症候群	3	3	3	2	1	0
171	ウィルソン病	10	11	11	6	3	2
172	低ホスファターゼ症	0	0	1	1	0	0
173	VATER症候群	1	1	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	1	1	1	1	0	0
187	歌舞伎症候群	1	1	1	1	0	0
188	多脾症候群	0	1	1	0	0	1
189	無脾症候群	1	1	1	1	0	0
191	ウェルナー症候群	0	1	1	1	0	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	2	2	1	0	1
194	ソトス症候群	1	1	1	0	0	1
195	スーナン症候群	0	1	0	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	1	1	1	1	0	0
208	修正大血管転位症	2	2	2	1	1	0
209	完全大血管転位症	1	3	4	2	1	1
210	単心室症	4	4	3	1	1	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3	3	3	0	2	1
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	4	3	3	1	1	1
215	ファロー四徴症	6	9	9	5	1	3
216	両大血管右室起始症	4	4	2	2	0	0
217	エプスタイン病	2	2	2	1	1	0
218	アルポート症候群	0	0	2	0	2	0
220	急速進行性糸球体腎炎	5	7	8	6	1	1
221	抗糸球体基底膜腎炎	5	4	6	4	1	1
222	一次性ネフローゼ症候群	89	99	102	69	20	13
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	3	3	1	2	0
224	紫斑病性腎炎	9	13	12	8	4	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	5	4	4	4	0	0
227	オスラー病	4	4	5	2	3	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	2	1	1	0	1	0
235	副甲状腺機能低下症	1	1	2	2	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	2	2	1	1	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	1	2	0	1	1
251	尿素サイクル異常症	1	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	1	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	2	2	2	1	0	1

年度・市町村別 疾患名 下段：重症（内数）		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	松戸 市	流山 市	我孫子 市
266	家族性地中海熱	2	2	4	2	1	1
271	強直性脊椎炎	17	20	18	12	3	3
274	骨形成不全症	1	1	1	1	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	1	1	0	0	1
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	1	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1	0	0	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	1	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	3	6	6	3	0	3
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	4	2	1	1	0	0
289	クローンカイト・カナダ症候群	1	1	1	1	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	1	1	0	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	1	1	1	1	0	0
293	総排泄腔遺残	1	1	1	0	1	0
296	胆道閉鎖症	3	3	3	1	2	0
299	嚢胞性線維症	0	0	1	0	1	0
300	IgG4関連疾患	22	30	29	19	8	2
301	黄斑ジストロフィー	0	0	2	2	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	2	3	2	1	1	0
306	好酸球性副鼻腔炎	145	199	232	130	69	33
316	カルニチン回路異常症	2	2	2	1	1	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0	1	1	1	0	0
328	前眼部形成異常	0	0	1	0	1	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0	0	3	1	1	1
331	特発性多中心性キャッスルマン病	9	12	14	8	5	1
335	ネフロン癆	1	1	1	1	0	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	1	1	1	1	0	0

※受給者なしの疾患は省略。

（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表１２－（３） 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 （単位：人）

年度	総数	松戸市	流山市	我孫子市
令和４年度	29	20	6	3
令和５年度	29	19	6	4
令和６年度	32	23	5	4

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 12-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
令和4年度	2	2	-	-	1	-	11	1
令和5年度	1	1	-	-	1	-	8	-
令和6年度	6	6	-	-	7	-	21	30

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 12-(4)-イ- (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
令和4年度	6	12	4	12
令和5年度	5	12	7	12
令和6年度	4	13	8	13

(イ) 訪問相談員育成事業

表 12-(4)-イ- (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
令和4年度	令和5年 2月24日	講演「ALS患者の理解・支援について」	保健師、看護師 社会福祉士 等	24
令和5年度	令和5年 11月16日	講演「難病患者の災害支援について」	保健師、看護師、 管轄市職員 等	26
令和6年度	令和6年 5月20日	講演「コミュニケーション機器の基礎知識と 導入支援について」 講師 株式会社みどりのまきば企画 代表取締役 玉浦 正憲 氏	保健師、看護師等	12
	令和7年 3月5日	講演「自助具等生活の中で活用できる道具や 暮らし方の工夫」 講師 流山中央病院附属泉リハビリテーショ ン病院 広瀬 哲義 氏・野辺 幸子 氏		14

ウ 医療相談事業

表12-(4)-ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
実施なし					

エ 訪問指導事業

表12-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別)

(単位：件)

疾患名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総数	5	17	31
筋萎縮性側索硬化症	5	15	24
ライソゾーム病	-	-	1
ベツレムミオパチー	-	-	2
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	-	-	1
筋ジストロフィー	-	1	1
ウエスト症候群	-	-	1
レット症候群	-	1	1

オ 訪問診療等事業

表12-(4)-オ 訪問診療等事業実施状況

(単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実 人 員	延 人 員		専 門 医	主 治 医	看 護 師	理学 療法 士等	保 健 師	そ の 他
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 訪問リハビリテーションも含む

カ 窓口相談事業

表12-(4)-カ 相談内容

(単位：人)

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談者数 (延)	16	17	16
申請等	12	6	1
医療	2	6	2
家庭看護	2	3	12
福祉制度	-	-	-
就労	-	2	1
就学	-	-	-

食 事 ・ 栄 養	-	-	-
歯 科	-	-	-
そ の 他	-	-	-

※申請等に関する相談者数については、平成28年度より計上方法の定義を変更した。

キ 難病対策地域協議会

表12-(4)-キ 難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員（職種）	延人数	内 容
実施なし				

13 受動喫煙対策

健康増進法に基づき、受動喫煙に関する施設からの問合せや県民からの苦情等を受けて、施設管理者等への助言・指導等を実施した。

健康増進法の改正により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。

表13-(1)-ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和4年度	17	-	16	-	-	1
令和5年度	22	2	15	3	-	2
令和6年度	34	-	33	-	-	1

表13-(1)-イ 立入検査状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和4年度	-	-	-	-	-	-
令和5年度	-	-	-	-	-	-
令和6年度	-	-	-	-	-	-

14 市町村支援

管内各市の健康増進計画・虐待防止対策等会議に委員として出席し、専門的・広域的な視点から支援している。また、保健師、管理栄養士等を対象とした研修会を開催し、地域保健活動の推進と資質の向上を図った。

(1) 市町村への支援状況

表14—(1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡			
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ
松戸市	松戸市少年センター運営協議会	1	課	事業報告・次年度活動計画
	松戸市学校保健会理事会	1	課	事業計画・事業報告
	松戸市児童虐待防止ネットワーク会議	1	次	活動方針・活動報告・児童虐待の状況
	松戸市児童虐待防止ネットワーク実務者会議	2	保	活動報告・事業計画、調査結果報告等
	松戸市母子保健連絡協議会	1	保	活動報告・事業計画
	松戸市地域ケア会議	1	次	地域包括ケアシステムの構築
	松戸市医療的ケア児の支援のための連携推進会議	2	保	実績報告・事業計画
	松戸市健康づくり推進会議	2	課	事業報告・新計画策定
	松戸市自殺対策推進部会	0	課	計画の概要及び進捗状況・今後の取組
流山市	流山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	課	実績報告・事例報告
	流山市要保護児童対策地域協議会実務者会議	3	保	実績報告・事例報告
	流山市高齢者虐待防止ネットワーク担当会議	4	保	実績報告・事業計画、対応状況調査結果、次年度計画等
	流山市母子保健事業定例会	3	保	実績報告・事業計画
	流山市保健主事部会	1	保	活動方針・活動計画・情報交換
	流山市避難行動要支援班作業部会	1	保	活動報告・活動方針・情報交換
我孫子市	我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会	2	課	活動報告
	我孫子市健康づくり推進協議会	1	課	事業計画・実績報告

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）